

茅ヶ崎市自立支援協議会 報告書

件 名	令和５年度第３回 茅ヶ崎市自立支援協議会 当事者部会
日 時	令和６年４月４日（木）１７時３０分～１８時３０分
場 所	茅ヶ崎市分庁舎５階 Ｆ会議室
出席者	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 湊 弘志 <input type="checkbox"/> 青木 理香 <input type="checkbox"/> 川口 亜計美 <input checked="" type="checkbox"/> 鈴木 大雅 <input type="checkbox"/> 成澤 慶樹 <input checked="" type="checkbox"/> 松本 敬太 <input checked="" type="checkbox"/> 臼井 幹夫 <input checked="" type="checkbox"/> 石井 直子 <input type="checkbox"/> 飯田 裕子 <input checked="" type="checkbox"/> （事務局）茅ヶ崎市福祉部障がい福祉課 課長補佐 前田 玲美 <input checked="" type="checkbox"/> （事務局）茅ヶ崎市福祉部障がい福祉課 副主幹 大畑 純子 <input checked="" type="checkbox"/> （事務局）茅ヶ崎市福祉部障がい福祉課 主査 池元 佑輔 <input checked="" type="checkbox"/> （事務局）茅ヶ崎市福祉部障がい福祉課 副主査 鈴木 敦之 </p>
議 題	<p> 1 前回の振り返り 2 １年間を通して作成した資料について 3 令和６年度について （１）部会員について ① 現部会員の継続について ② 今後の部会員の構成について （２）令和６年度の取り組みについて 4 その他 </p>
<p>1 前回の振り返り</p> <p>・「障がいのある方の困りごとを知って」（交通機関編）（お店編）をまとめた。 次年度については、完成した冊子をどこに周知し、どのように配置するか周知啓発をどのように周知行っていくかなど協議していきたいと考えている。</p> <p>【質 問】</p> <p>・これまで作成していた冊子に追加することによりか。 →発行している冊子に、交通機関編、お店編を追加する形で発行する。</p> <p>・次年度の活動については、本冊子をどのように周知するのか、どこに配置するのか、配布先をどこにするのかなど協議するとの理解でよい。</p> <p>→質問の認識とおり。特段別の議題がなければその方向で進めていきたいと考えている。</p> <p>【冊子の内容について各委員より意見】</p> <p>・冊子はカラー刷りが良いと考える。内容の中で特に伝えたい部分については強調するなど工夫が必要。</p> <p>・通院編についてはよくできている。</p> <p>・（障がいについて）わかって欲しい事が盛りだくさんになっている。</p> <p>・４月より合理的配慮が義務化されたことからこの冊子はかなり有効なツールになる。</p> <p>・この冊子を周知することによって、悩みを知ってもらうことはいい取り組みだと思う。</p> <p>・お店編に、手話ができるスタッフがいたのであれば、手話ができるといったワッペンなど分かるような表示すると助かる。などの提案を載せて欲しい。</p> <p>・電車のトラブル等については、遅延理由をディスプレイに表示してもらえると良い。</p> <p>・QRコードを添付してデータで読み込めると良い。</p>	

- ・お店編に「手話が必要です。」などの意思表示を指さしなどで確認できるカード(希望する行動を示すもの)のよなものと良いと思う。
- ・障がい者の困り感が増えてきた背景には、障がい者の方々が社会に出る機会が増えたことによるもの。社会で活動しやすくなったとも捉えられる。この冊子を活用し、自分たちの気づきをもっと発信することで多くの人たちに気づいて欲しい。そして一緒に考えてもらうきっかけになると良い。
- ・これまでの冊子の文面の表現を同様に「交通機関編」「お店編」も合わせて欲しい。表現があいまいな表現が多かった。今回のように言い切り方の表現に合わせた方が良い。
- ・視覚障がい者理解につながる内容になっている。聴覚障がいにも難聴が多いのと同様、視覚障がいにも弱視が多い。中途障がいの方も増えている。障がい者自身も自分の障害について客観的に理解できているわけではない。冊子を通じて理解を広げていけると良いと思っている。
- ・全体に向けて、イヤホンをしながら歩く。歩きスマホはやめて欲しい。冊子の一番目立つところに記載して欲しい。

これまでの意見については、再度事務局で集約し、内容をブラッシュアップしていきたいと考えている。

【その他日常生活での気づきなどの意見】

- ・聴覚障がいの委員より今日の会議の前に電車が止まっていたが何が起こったかは不明だった。アナウンスがあったようだが、判らなかったため、何があったか表示されると不安なく過ごすことができると思った。
- ※自分は苦手なのでできないが、聴覚障がいの方でも電車の中で隣の人に聞く人もいると思う。しかし、聴覚障がいは見た目ではわからないため、聞く事にはとても勇気がいる。周囲に聴覚障がい者が自然と分かるような方法があると良いと思った。
- ・視覚障がいの団体から、JRに対して各柱にぶつかってしまうことが多いため、ラバーマットなどまいてもらような配慮をして欲しい。と要望しているが、なかなか進んでいない。
- ・コンビニで配慮されることは少ない。手話を第一言語にしている方は少ない。難聴者は多い。難聴者の方が多い。高齢者の難聴者も増えている。手話だけでなく筆談くらいの配慮が広がると良いと思う。
- ・テレビで聴覚障がい者達が居酒屋で注文する時、白い旗を揚げるといった配慮をしている店があると報道していた。茅ヶ崎でもこのような対応してくれるお店が増えると良い。
- ・市内の人気パスタ屋で点字メニューを導入していた。このような配慮があるお店が増えるとうれしい。
- ・映画館で車いすユーザーは他の映画館へ案内された。といった投稿があった。とても残念な気持ちになった。
- ・古い映画館で、物理的な構造で遠いエレベーターを紹介されとても大変だった。
- ・映画館にゴジラを見に行った時に。字幕を見たいとお願いしたときに、重たいゴーグルをつけるように案内された。ゴーグルでの対応については、合理的ではないと感じた。邦画でもゴーグルではなく、字幕有りの映画があると良いと思った。DVDなどになればあるが、公開当日に見たいニーズには答えていない。
- ・バスが発車する前に、どこ行きか説明して欲しいと神奈中バスに依頼したが、一車線(盲学校行)のみ茅ヶ崎市内の路線バスには運転手毎に対応している。すべてには徹底されていない。
- ・よく、困っていそうだけど何に困っているのか判らないといわれる。一度断ると、二度と声をかけてくれなくなる。
- ・公共交通機関で、求めているが、席を譲られたときに、一度断ってしまうと新設の輪が広がっていかないのではないかと家族から言われた。
- ・自転車乗りながら、スマホをいじりながら、イヤホンをしていた。とても怖い。
- ・歩きスマホは危険。
- ・自転車は左側通行のはずなのに、右側通行している自転車が多い。

2. 1年間を通して作成した資料について

- ・当事者部会として冊子を使った説明する機会を各企業などに向けて発信していきたい。
- ・視覚障がい者福祉協会は、都市政策課と市社協が主催するふれあい学習で小学3～4年生向けに学習会を行っている。障がい者理解を深めることはとても大切。
- ・当事者部会でチームを作って出向くのは良い。
- ・以前、当事者部会と高校生と意見交換する座談会を開催したことがあった。この機会はとてもいい体験だった。再度開催しそこで周知できても良い。

3. 令和6年度について

(1) 部会委員について

① 現部会員の継続について

臼井委員：当事者部会は当事者の声が活字とし残る。とてもいい機会。皆さんにも継続して欲しい。

湊委員：茅ヶ崎市聴覚障害者協会の皆さんと話し合っ決めて。後日連絡したい。

石井委員：引き続き出ます。

松本委員：引き続き出ます。

鈴木委員：引き続き出ます。

石井委員：自分も発信するが、他の障がいの方たちと直接お話しできる機会はとても貴重。これからも参加していきたい。

臼井委員：視覚障害者団体があることを知らない人が多い。全盲の方で盲導犬と一緒に移動している方がいる。その方にも声かけをして参加してもらうように促していきたいと考えている。団体としての参加ではなく、フリーとして参加してもらえるように声かけをしたいと考えている。

池元主査：後日、臼井委員から推薦された方に連絡を取り、希望があれば、部会への招致を進めていきたい。本日お休みの飯田委員、成澤委員、青木委員にも連絡し継続の希望の有無について確認します。

② 今後の部会員について

現部会員の継続を確認し、臼井委員より推薦された方に連絡を取り、希望があれば、部会への招致を進めていきたい。

(2) 令和6年度の取り組みについて

次年度については、完成した冊子をどこに周知し、どのように配置するか周知啓発をどのように周知行っていくかなど協議していきたいと考えている。

令和6年度は、どこに、どのように配布していくか構想を検討する。令和7年度は実際に配布する活動を行ってきたい。

4 その他

・次回は、4月25日に自立支援協議会の全体会を開催する予定。その日を境に令和6年度を開始。

出席可能であれば、参加をしていただきたい。

・令和6年度、当事者部会第1回の開催については5月の前半の木曜日に開催予定。

・部会の開催時間について、会社を早退する必要があるため、18時半くらいの開始の方が助かる。

→開始時刻については、事務局と協議したうえで決定する。

以上